

# 視覚障がい者の歩行を誘導する 車輪つき杖装置

大阪市立大学 大学院工学研究科

講師 今津 篤志

# 視覚障がい者に関連する事故ニュース

**視覚障がい者が9年連れ添った盲導犬とはねられ死亡**

[2015年10月4日9時32分 紙面から]

**視覚障害の女性、車にはねられ死亡 重度の姉と通勤中**

朝日新聞デジタル 10月15日(木)20時42分配信

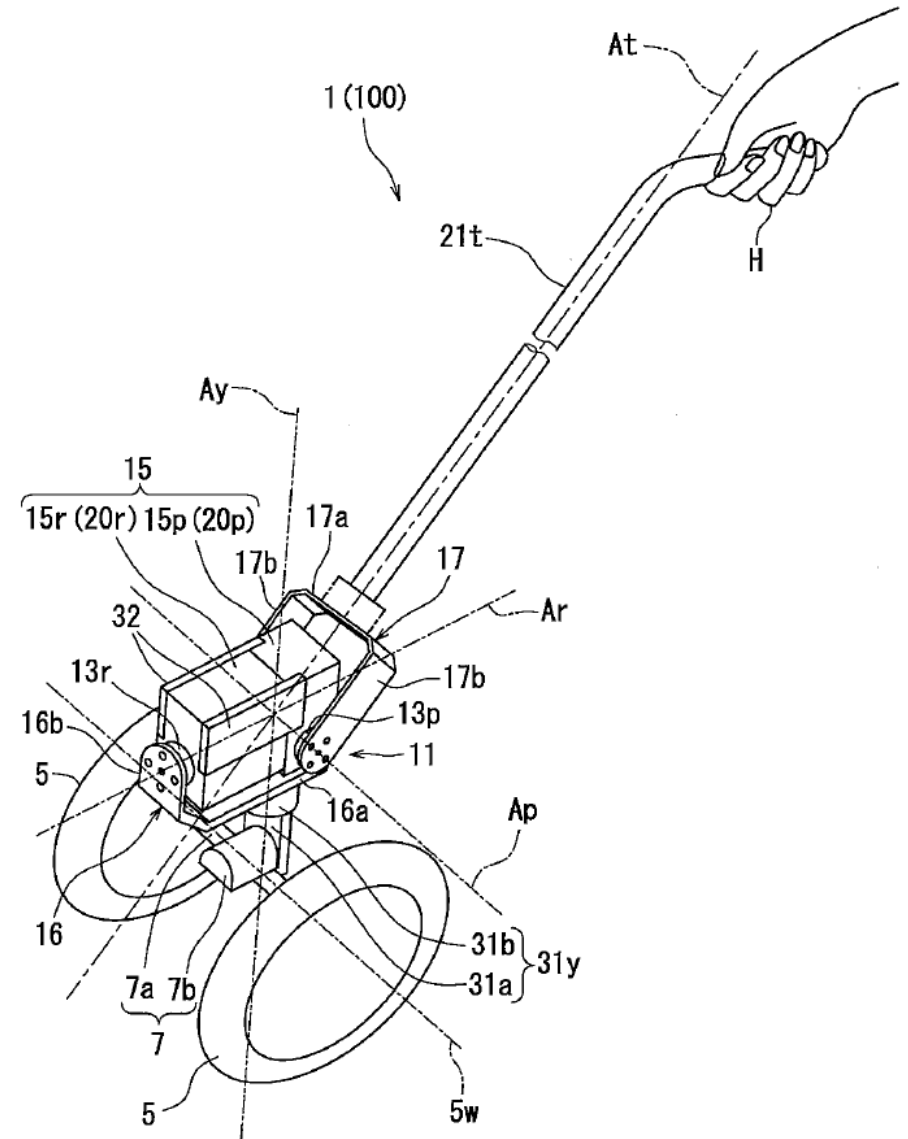
- 安全な案内装置を作ることは、社会貢献事業としても価値がある
- 数を出すためには？
  - 歩行者用の観光地ナビなど

# 従来技術とその問題点

- スマートフォンによるナビ
- 研究レベルでは音声、振動装置
  - 方向がつかみづらい
- 車両と杖のタイプの特許もある
  - 使用者には、進んだ結果として方向が伝わる
  - 方向の提示方法の具体的な記載が無い

# 新技術の特徴・従来技術との比較

- コンパクトな機構で
  - 確実な誘導案内
  - 方向の提示を両立
- 案内・提示が
  - 高分解能
  - 連続(常時)



# 実用化に向けた課題

- 現在、機構部分(特許部分)は開発済み。視覚障がい者の方にもヒアリングを実施し、好感触を得ている。
- 組み合わせる誘導方法として
  - センサを用いた自動経路案内
  - 遠隔ヘルパーによるインターネット越しの誘導を開発中だが道半ばである。

# 企業への期待

- 小型軽量なセンサ
- 自己位置推定とナビゲーションの技術
- ネットワークやデータベースの活用
- 社会実装

# 本技術に関する知的財産権

- 発明の名称 : 誘導装置及び制御方法
- 出願番号 : 特願2015-102390
- 出願人 : 大阪市立大学
- 発明者 : 今津篤志

# 産学連携の経歴

- 2008年-2009年 JST 研究成果展開事業 地域ニーズ即応型事業に採択(東京工科大学在籍時)
- 2012年-2013年 JST A-STEP フィージビリティスタディステージ 探索タイプ事業に採択



# 問い合わせ先

**公立大学法人大阪市立大学  
新産業創生研究センター  
副所長 若林 寿夫**

**TEL 06-6605-3469**

**FAX 06-6605-3552**

**e-mail [wakaba@ado.osaka-cu.ac.jp](mailto:wakaba@ado.osaka-cu.ac.jp)**